

1. 交付金事業の名称 令和3年度エネルギーに関する教育支援事業費補助
2. 交付金事業の事業主体 青森県
3. 交付金事業の実施場所 青森県
4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要となる以下の内容を実施した。

【県事業】(百石高等学校、青森工業高等学校)

(1) 施設見学の実施

六ヶ所村次世代エネルギーパーク、日本原燃及び関連施設等を見学した。

【市町村事業】(平川市、藤崎町、階上町、六ヶ所村)

(1) 実験器具・実験材料の整備

戸式霧箱、簡易放射線検知器、自然エネルギー実験セット、赤外線サーモグラフィー、大型太陽焦熱炉、燃料電池組み立てキット等を整備し、活用した。

(2) 施設見学の実施

葛巻町環境エネルギー各施設を見学した。

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費 6, 090, 055円

交付金充当額 793, 875円

6. 交付金事業の成果及び評価

・当事業により、原子力・エネルギー分野の学習について児童・生徒の理解が促進されたと回答した割合【理解度】は、実験器具・実験材料の整備事業が目標90%に対して実績97%、施設見学の実施事業が目標90%に対して実績87%であった。施設見学の実施事業では、新型コロナウイルス感染症対応のため、施設見学を中止した学校が見られた中であっても、目標値から3ポイント程度の下落で留まったのは、購入機器等を活用した代替の授業を実施したことにより、施設見学で得られる学習効果が得られたものと考えられる。全体的には実験器具・実験材料の整備、施設見学を実施したことにより、観察・実験等の体験的な学習活動の充実が図られ、放射線や原子力を含むエネルギーに関する興味・関心が高まり、児童・生徒の理解が促進されたと評価できる。より一層理解度を高めていくためには、整備した実験器具を効果的に活用する授業を年間指導計画の中に位置付けるとともに、体験活動や問題解決的な学習活動を積極的かつ継続的に取り入れるよう、学校に対して働きかけ、改善を図っていく。

・原子力・エネルギーに関する教育のため、環境整備として当事業が促進されたと回答した割合【満足度】は、実験器具・実験材料の整備事業が目標90%に対して実績99%、施設見学の実施事業が目標90%に対して実績84%だった。実験器具・実験材料の整備事業では非常に高い満足度を得たが、施設見学の実施事業の満足度が目標値より6ポイント下回ったのは、当初計画していた施設見学をやむを得ず中止したことによる影響が考えられる。今後も、自然災害や感染症等による事業計画の変更は十分考えられるため、柔軟に対応できる事業計画を立てるよう学校に対して働きかけ、事業内容の一層の充実を図っていく。